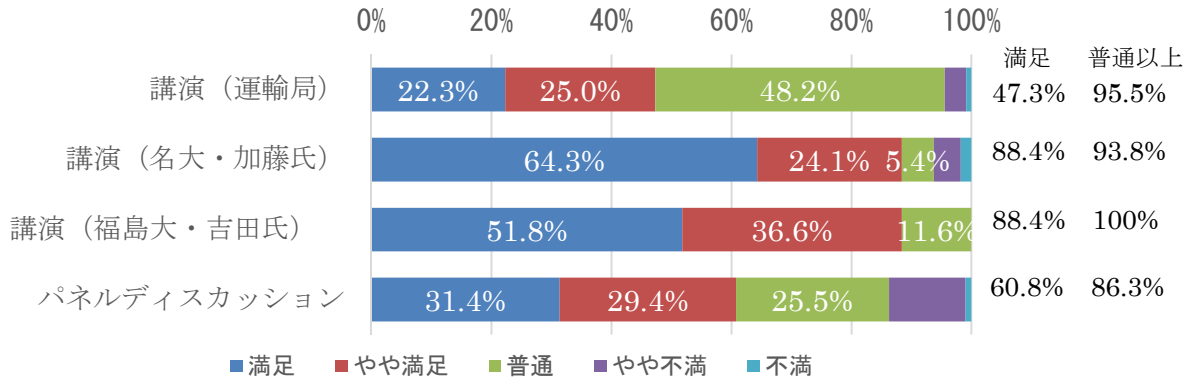


## 「平成 29 年度地域公共交通シンポジウム in 中部」実施結果概要

回答者数 113/277人（申込ベース）      回答率：40.8%

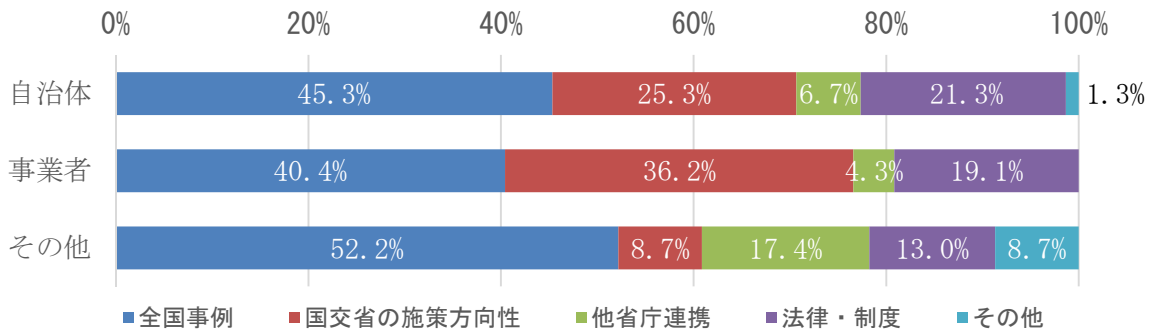
### I プログラムごとの満足度

全てのプログラムで「普通」以上の回答が8割を超える結果となり好評でした。  
特に、加藤氏・吉田氏の講演に対する満足度が非常に高い水準でした。



### II シンポジウムで今後扱って欲しいこと

「全国事例」「国交省の施策や方向性」「法律・制度」の順でした。



### III 主な自由意見

- ・公共交通を創りあげるのは自治体であり、その地域に住む方々が主体であるということがよくわかった。
- ・先生方の講演をもっとじっくり聞きたかった。
- ・パネルディスカッションの時間が短かった。
- ・パネルディスカッションでは、発表だけではなく討論も聞きたかった。

## PHOTO



ご登壇頂いた皆様には、非常に熱意のこもった話を頂戴しました。



個別相談会も盛況でした。